



# 岸 高明の市議会だより

事務所 茅ヶ崎市新栄町7-1 岸ビル6F

自宅 茅ヶ崎市本村4-10-8

<http://www.takaaki-kishi.com/>

mail: t-k@takaaki-kishi.com

Tel 0467-89-3807

Fax 0467-89-3806

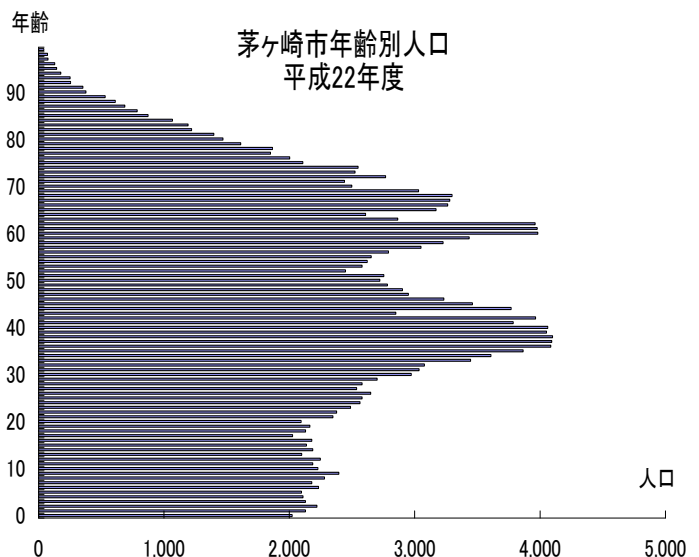
## 個人は35年先を見通し住宅ローン、

## 市が目先の事ばかりを追ってはだめ！

35年先までの家族の生活を考えて、住宅ローン（フラット35）を使うなどして、個人では住宅を購入するケースも多いと思います。今、100歳以上のお年よりが珍しくない時代です。だれもが一生にわたり安心して暮らせる人生設計を望んでいるはずです。

さて、市が目先の事しか考えていないとしたら、市民が安心して暮らせますか。

右の記の図は、茅ヶ崎市に暮らす人のうち、何歳の人があるかをグラフ化したもの。縦軸の0から90までの数字が年齢、横軸の0から5,000が人数です。60歳代に戦後のベビーブーム世代、30歳代に第二次ベビーブームの山。第三次ベビーブームは、ちょっとヒゲのように出て終わりかもしれません。



1年だけ落ち込んだ年は“ひのえうま”。今でも迷信を信じているのは意外です。

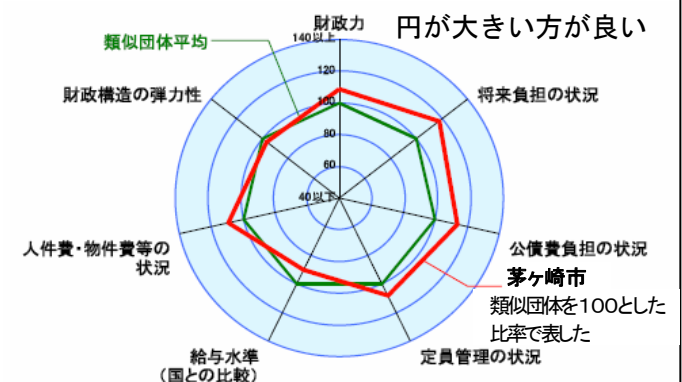
このデータだけでも、10年後、30年後の働く人やお年寄りの数から概略の社会の様子が想像されます。

平成23年度から新たな茅ヶ崎市総合計画がスタートします。しかし、この長期計画でも10年間です。市債（借金）償還・社会資本（下水道・道路・施設など）耐用年数は、もっと長期にわたります。

今、生まれた赤ちゃんからお年よりまで一生安心して暮らせる茅ヶ崎市にします。

決して、次世代にツケを残すような政策は認めません。

市町村財政比較分析表(平成20年度普通会計決算)



平成23年度予算は、一般会計582.5億円、子ども手当を除くと対前年比6億円と若干増。民生費の増加は、今後も続く見込み。税収は、ほぼ前年並み。



## 地震・津波から命と財産を守る

東日本大震災による大津波により多くの命が失われてしまいました。東北地方太平洋沖大地震で亡くなられた方々のご冥福と被災地の一日も早い復興をお祈りいたします。

相模川の河口に広がる海岸地帯が私たちの住む茅ヶ崎市です。今回の東北地方太平洋沖大地震のように、私たちが住む街が大津波で洗われないかと心配される方もいらっしゃると思います。

東北地方太平洋沖大地震は、想定を大きく超える規模の地震であったと報じられています。

今回の津波被害により、茅ヶ崎市の地震や津波の防災計画の見直しが急務です。現在の想定される地震のシミュレーション結果では、最大津波でも海岸線沿いの国道134号が自然堤防の役目を果たし、茅ヶ崎市の住宅街は守られると予測しています。ただし、河川などからの浸水が予測されています。相模川河口の堤防には不十分な箇所があり国での早期の完成が望まれます。被害予測は茅ヶ崎市津波ハザードマップとしてまとめられています。

私は、地震から命と財産を守るために行政は、建物の倒壊防止のための耐震強化、火災防止（延焼防止）のための道路・街づくり計画、津波から町を守る堤防の整備が重要であり、そして、被災後の避難生活対策が重要と考えます。



## 足を止めたくなる茅ヶ崎

茅ヶ崎が町から市になったのが昭和22年10月1日の事。私が生まれる4年前の事でした。当時の人口は4万人でした。当時から現在まで、決して豊かとはいえない市の財政状況でしたが、焦らず丁寧な街づくりを先達が行ってきたものと思います。現在の人口は23万人と約6倍に増え、田んぼや畑が住宅に変わりました。決して派手な街ではありませんが“住みたい街”の上位に選ばれ、“茅ヶ崎”が全国的なブランドとなっているのは、先達の努力の賜物に他ならないと感謝しています。海と山の自然、海と山の幸、そして、穏やかな気候、横浜・東京が通勤圏内という好立地。この茅ヶ崎市が後世の人達にも愛される“まち”となるよう議員として働いてまいります。

昨年末には藤沢大磯線が開通し西久保から湘南銀河大橋経由で平塚に繋がり、今年度（23年度）には東海岸寒川線の高田部分が開通し“みずき”から海岸までが一本で繋がります。また、来年度（平成24年度）にはさがみ縦貫道が開通し県央や東名高速道路と茅ヶ崎市が高速道路で繋がる予定です。圧倒的に利便性が向上します。新たに、海を持たない県央地域と本市が繋がる価値は大きく観光や産業の要所として新たな街へ姿を変える環境が整います。本市が通過交通地点とならないよう“ここで足を止めたくなる”事業を進めてまいります

## ●岸高明のプロフィール●

■昭和26年10月7日(故)岸芳雄の長男として、茅ヶ崎で生まれる。■電子機器、画像認識、メカトロニックスの研究開発に従事、第一人者として技術論文の著作や多数の特許を取得 ■平成15年添田高明市長の推薦を受け市議会議員となる。■都市建設常任委員会委員長、議会運営委員会副委員長、農業委員などを歴任、会派茅ヶ崎クラブ代表 ■ローカルマニフェスト推進議員連盟会員、地方政府の多様化を進める議員連盟会員

岸高明さんを応援しています！！

衆議院議員 河野太郎



岸高明さんは、議会のリーダーとして様々な改革に積極果敢に取り組んでいます。特に「地方分権」「まちづくり」の分野では右に出る者はいません。

2期8年の実績を武器に更なる飛躍を多くの市民の皆様が期待しています。

私も全力で岸高明さんの活動をサポートさせていただきます。

3期目の岸高明さんにご期待下さい！